農林水産省登録
第２５０５３号

天敵殺虫剤

チリガブリ®A

®は登録商標

ハダニから作物を守る!!





Active【活発な】

高い捕食能力と増殖能力を持ち合わせており、
放飼後の活動も活発!

Advance【高度な】

振り出し口の形状が涙型で、なおかつ端に位置しているため、
放飼しやすい!

Assist【支援する】

JAS認証*を取得しており、減農薬や環境負荷の軽減に貢献!
また、IPMプログラムでの体系防除でご活用いただけます。
*JAS法に適合しています。

天敵殺虫剤 チリガブリA

有効成分：
チリカブリダニ(2,000頭/100mℓ)



【天敵殺虫剤チリガブリAの特長】

チリガブリAは、ハダニ類(ナミハダニ、カンザワハダニ等)を捕食する天敵"チリカブリダニ"を含有する製剤です。チリカブリダニは、ハダニ類のみをエサとし、他のカブリダニ類と比べて高い捕食能力と増殖能力を持ち合わせています。

適用害虫と使用方法

作物名	適用害虫名	10アール当りの使用量	使用時期	総使用回数＊	使用方法
野菜類(施設栽培)	ハダニ類	2,000~6,000頭	発生初期	−	放飼
花き類・観葉植物(施設栽培)					

＊本剤およびチリカブリダニを含む農薬の総使用回数

上手な使い方

【放飼前】カブリダニ類に影響の少ない化学農薬(気門封鎖剤など)を散布し、ハダニ類の密度を下げてください。

【放飼時】ハダニ類の発生初期に放飼してください。
ハダニ類の密度が高い場所に、重点的に放飼するとより効果的です。

〈注意〉※チリカブリダニ導入後に、チリカブリダニに影響のある農薬は使用しないでください。
※チリカブリダニは生き物です。商品到着後は、速やかに使用し使い切ってください。

ミヤコバンカー® との併用で効果が安定します



ミヤコバンカーは、バンカーシートとミヤコカブリダニパック製剤をセットとした商品の通称です。バンカーシートとは、化学農薬や環境変化の影響を軽減し、シート内でカブリダニを保護・生存させ、長期間放出できる簡易型紙資材です。
イチゴ定植後、マルチを展張したのち(10月下旬~11月上旬)にミヤコバンカーを設置、同時にチリガブリAを放飼することで、より安定したハダニ防除効果を発揮します!

バンカーシートの詳しい説明はこちらからご覧いただけます。
石原バイオサイエンス株式会社~生物農薬特設ページ~



放飼の流れ 10a当たり1~3ボトルを使用してください。

上手な使い方はこちら▶



使用前に容器の底を下方向に打ち付けて、上部に集まっているチリカブリダニを下に落とします。



容器を横にして5~6回程度ゆっくり回転させ、チリカブリダニが均一に分布するようにします。



葉の上に振りかけるようにして、圃場全体に放飼します。



容器内にチリカブリダニが残っています。放飼直後は、容器をそのまま株間に数日おきます。

⚠ 効果・薬害等の注意事項

●本剤はハダニ類を捕食する天敵チリカブリダニを含有する製剤です。
●チリカブリダニの生存日数は短いので、入手後直ちに使用し、使いきってください。
●容器内でチリカブリダニが偏在していることがあるので、使用の際は容器を横にしてゆっくり回転させ均一に混在させたのち、所定量を葉の上に容器から少量に分けて放飼してください。
●ハダニ類の生息密度が高くなってからの放飼は十分な効果が得られないことがあるので、ハダニ類がまだ低密度で、散見され始めたときに最初の放飼を行ってください。
●ハダニ類の発生初期より1~2週間間隔でほ場全面に放飼することが望ましいです。
●チリカブリダニの放飼前後に本種の活動に影響を及ぼすおそれがある薬剤の散布はさけてください。
●本剤の使用に当っては、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

●使用前にラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●小児の手の届く所には置かないでください。

※本内容は2026年10月時点の知見に基づく ※製品写真、イラストはイメージです。実際の製品と異なる場合があります。

ISK Local Insight, Global Impact

石原バイオサイエンス株式会社
〒102-0071 東京都千代田区富士見2丁目10番2号

製品情報はこちら

2610SKJ